



## トップメッセージ

DAiKOは、お客さま第一の基本理念のもと  
人・物・サービス、そして経営品質を  
最高水準に高め、お客さま満足度の  
最も高い会社を目指します！



株主の皆さまにおかれましては、ますますご清  
祥のこととお慶び申し上げます。

大興電子通信は、本年12月1日に創立60周年  
を迎えさせていただきました。これもひとえに皆  
さまのあたたかいご支援の賜物でございます。

創立60周年という節目の年を新たな出発点と  
し、「情報サービスを通して「価値あるしくみ」を  
創造することで、社会の発展に貢献します」とい  
う経営理念のもと、「お客さま第一」と「品質向  
上」をすべての活動の基本に据え、これまで以上  
に高品質かつ高付加価値サービスを提供すること  
に取り組み続け、お客さま満足度の最も高い会社  
を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、ご理解とご支  
援を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長

津玉 高秀

## 連結経営成績／事業部門別情報

### 連結経営成績

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府、日銀の打ち出した経済対策や金融緩和策への期待感から円高が是正され株価が上昇するなど、緩やかな景気回復の兆しがみられました。

当情報サービス業界におきましては、大企業を中心に設備投資は回復基調にありましたが、当社の主要顧客層である中堅企業においては慎重姿勢が継続しており、依然として受注環境は厳しい状況となっております。

こうした環境のなか、当社グループでは、「お客さま第一」の方針のもと、「品質向上」への取組み継続により、顧客満足度の高いICTサービスの提供に努めてまいりました。

具体的な施策としては、主要なパートナーである富士通株式会社および同社グループとの連携強化による受注拡大を進めるとともに、収益向上を目的とした顧客接点増加への活動強化、さらに今後の成長基盤となる、自社開発ソリューションのチャネルビジネス拡大やクラウドサービス提供などの施策を積極的に進めてまいりました。また、平成25年3月期に発覚した当社の一部部門における不適切な会計処理につきましては、

売上高 **148億70**百万円 前年同期比93.5%

コンプライアンス強化に努め、全社一丸となって再発防止に取り組んでおりますが、一方で当該事象の調査にあたり全事業部門における原価処理の総点検を行ったため、第1四半期連結累計期間の受注活動に停滞が生じ、受注及び売上減少の要因となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高163億90百万円（前年同期比93.4%）、売上高148億70百万円（前年同期比93.5%）となりました。

利益面につきましては、人件費をはじめ固定費の削減に継続して取り組んだものの、不適切な会計処理の調査対応に伴う経費増、第2四半期連結会計期間の売上減少、ソフトウェアビジネスの売上遅延、及び受注損失引当金を計上したことにより、営業損失7億55百万円（前年同期は営業利益1億18百万円）、経常損失7億62百万円（前年同期は経常利益1億26百万円）となりました。

なお、特別損失として過年度決算訂正関連費用37百万円、法人税、住民税及び事業税を計上した結果、四半期純損失につきましては、8億14百万円（前年同期は四半期純利益1億7百万円）となりました。

### 情報通信機器部門

情報通信機器部門では、企業の投資抑制および前連結会計年度に計上した新規大型商談の反動もあり、受

売上高 **54億61**百万円 前年同期比92.1%

注高49億30百万円（前年同期比74.5%）、売上高54億61百万円（前年同期比92.1%）となりました。

### ソリューションサービス部門

ソリューションサービス部門は、受注高114億59百万円（前年同期比104.9%）、売上高94億8百万円（前年同期比94.4%）となりました。同部門の内訳としては、ソフトウェアサービスでは、公共分野におけるソフトウェア開発収入は堅調に推移したものの、既存顧客を中心とした民需分野ではICT投資抑制の影響により、受注高67億32百万円（前年同期比98.4%）、売

売上高 **94億8**百万円 前年同期比94.4%

上高54億58百万円（前年同期比89.0%）となりました。また、保守サービスでは、受注高25億50百万円（前年同期比105.8%）、売上高23億69百万円（前年同期比94.5%）となりました。最後に、ネットワーク工事では、既存顧客を中心に伸長しており、受注高21億76百万円（前年同期比130.7%）、売上高15億80百万円（前年同期比119.0%）となりました。

## 連結決算概要

### ■ 四半期連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期 連結会計期間	前連結会計年度
	平成25年9月30日現在	平成25年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	14,490	18,241
固定資産	4,241	4,205
有形固定資産	1,380	1,394
無形固定資産	182	182
投資その他の資産	2,678	2,628
繰延資産	6	8
資産合計	18,738	22,455
<b>負債の部</b>		
流動負債	9,069	11,447
固定負債	6,336	6,870
負債合計	15,405	18,318
<b>純資産の部</b>		
株主資本	2,737	3,552
資本金	3,654	3,654
資本剰余金	272	272
利益剰余金	△1,158	△343
自己株式	△31	△30
その他の包括利益累計額	499	489
その他有価証券評価差額金	499	489
少数株主持分	94	95
純資産合計	3,332	4,137
負債純資産合計	18,738	22,455

### ■ 四半期連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間
	自 平成25年4月 1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月 1日 至 平成24年9月30日
売上高	14,870	15,902
売上原価	12,568	12,861
売上総利益	2,302	3,040
販売費及び一般管理費	3,057	2,921
営業利益又は営業損失(△)	△755	118
営業外収益	47	60
営業外費用	54	51
経常利益又は経常損失(△)	△762	126
特別損失	37	0
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△800	126
法人税、住民税及び事業税	13	24
法人税等合計	13	24
少数株主損益調整前四半期純利益又は 少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△813	102
少数株主利益又は少数株主損失(△)	0	△5
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△814	107

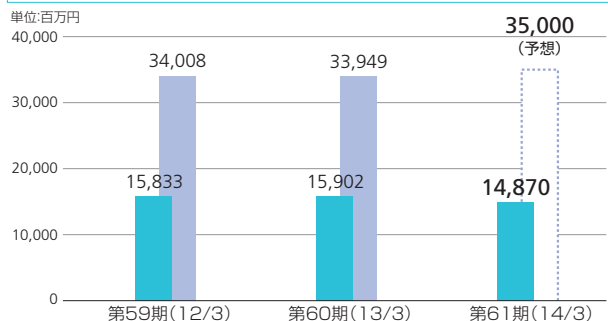
### ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円）

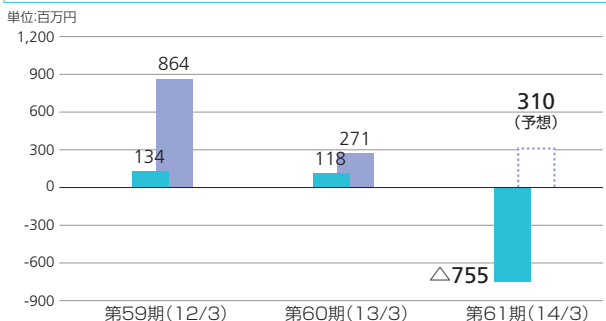
科 目	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間
	自 平成25年4月 1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月 1日 至 平成24年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△929	521
投資活動によるキャッシュ・フロー	△50	△45
財務活動によるキャッシュ・フロー	△371	82
現金及び現金同等物の増減額	△1,351	558
現金及び現金同等物の期首残高	2,742	2,526
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,390	3,085

# 財務ハイライト (連結)

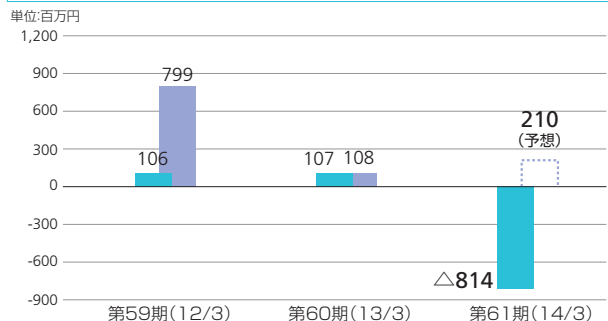
売上高 第2四半期 通期



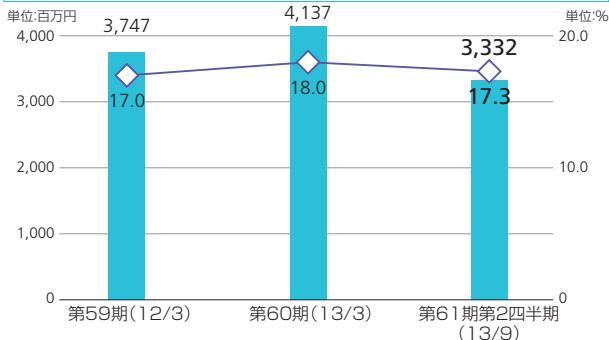
営業利益 第2四半期 通期



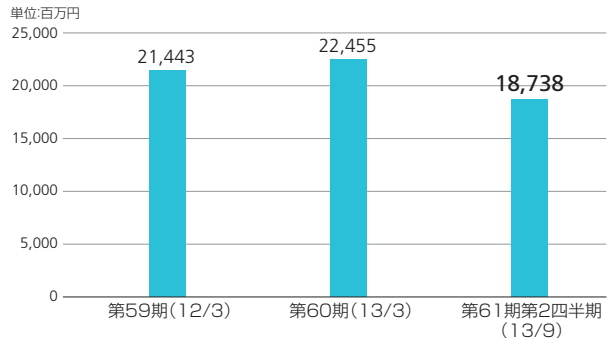
純利益 第2四半期 通期



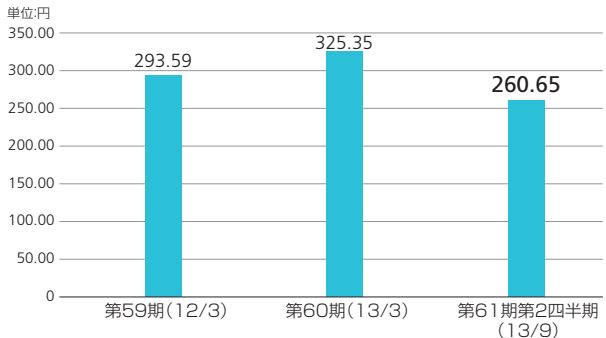
純資産・自己資本比率 純資産 自己資本比率



総資産



一株当たり純資産



# トピックス



## 株式会社ミライトと業務提携

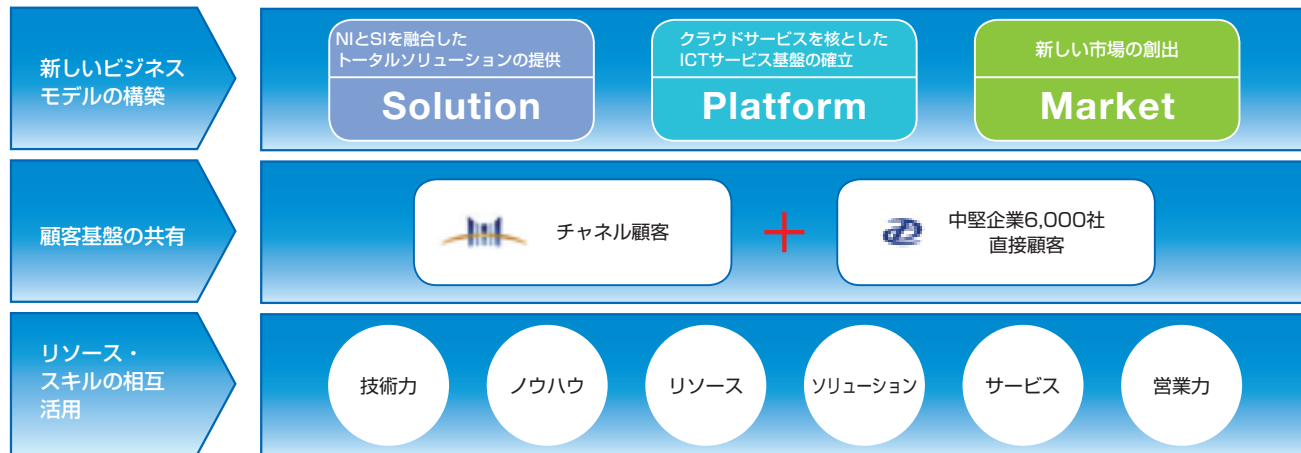
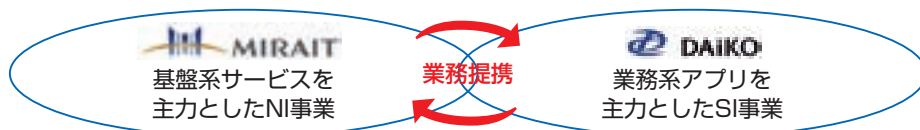
～ソリューションビジネスの事業分野拡大と新たな市場の創出に向けて～

当社と株式会社ミライトは、平成25年10月8日付でソリューションビジネス分野において、共同で既存事業領域の拡大ならびに新たな市場の創出を目的に業務提携契約を締結いたしました。

今回の提携は、両社がそれぞれの得意分野、経営資源（技術、ノウハウ、人材、拠点、顧客基盤）を相互に活用し、共同で既存事業領域の拡大、新たな市場の創出ならびにクラウドサービスを核としたICTサービス基盤の確立を目指すものです。



業務提携の調印後に握手するミライト 鈴木社長（左）と大興電子通信 津玉社長（右）



## 会社概要 (平成25年9月30日現在)

商号 大興電子通信株式会社  
 証券コード 8023 (東証第二部)  
 設立 1953年12月1日  
 所在地 東京都新宿区揚場町2番1号  
 電話 03(3266)8111(代表)  
 資本金 36億5,425万7,108円  
 従業員数 784名

### 企業集団の状況 ●連結子会社 ●持分法適用関連会社

#### ●大興ビジネス(株)

資本金：2千万円  
 当社出資比率：77.5%  
 事業内容：労働者派遣業、有料職業紹介業、ソフトウェアの運用管理  
 東京都新宿区神楽坂1丁目1番1号

#### ●(株)サイバーコム

資本金：1千万円  
 当社出資比率：96.5%  
 事業内容：ソフトウェアの開発・販売(病院情報システム)  
 東京都文京区関口1丁目44番4号

#### ●大興テクノサービス(株)

資本金：2千万円  
 当社出資比率：55.6%  
 事業内容：建物附帯諸設備の保守管理、電子計算機の保守  
 東京都台東区上野3丁目3番4号

#### ●(株)大和ソフトウェアリサーチ

資本金：4億4百50万円  
 当社出資比率：49.7%  
 事業内容：ソフトウェアに係るコンサルティング、開発および運用管理  
 東京都千代田区平河町1丁目2番10号

### 役員

取締役	代表取締役社長CEO兼COO	津玉 高秀
	取締役 上席執行役員	三木 格
	取締役 上席執行役員	山寺 光
	取締役 執行役員	岡田 憲児
	取締役(社外)	原口 直道
執行役員	執行役員	坪井 金洋
	執行役員	本多 浩明
	執行役員	内田 秀二
	執行役員	寺田 元一
	執行役員	小松 俊一
	執行役員	松山 晃一郎
	執行役員	深野 澄雄
	執行役員	福村 圭一
監査役	常勤監査役	酒井 厚平
	監査役(社外)	竹内 朗
	監査役(社外)	佐田 憲治

## 株式情報 (平成25年9月30日現在)

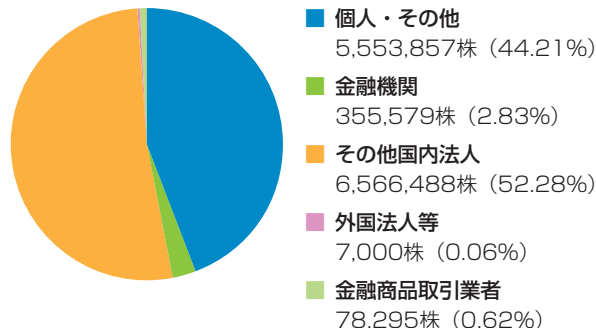
### 株式の状況

●発行可能株式総数	47,900,000株
●発行済株式の総数	12,561,219株
●株主数	1,476名

### 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
富士通株式会社	1,866,827	14.86
株式会社オービック	1,500,000	11.94
株式会社大和証券グループ本社	1,277,102	10.17
大興電子通信従業員持株会	1,269,662	10.11
株式会社ドッドウエル ビー・エム・エス	753,000	5.99

### 株式数別分布状況





# 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
決算期	3月31日
定時株主総会	6月
基準日	3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
配当金受領株主確定日	3月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。但し、やむをえない事由により電子公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載します。

## 【ご注意】

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

IR情報は  
こちら  
をご覧ください。

(当社ホームページ)



(当社IRページ)

当社ホームページもご覧ください。  
<http://www.daikodenshi.jp/>  
当社ではIR専用ページを設けております。